

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1001010

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・維持事業であるため、毎年実施する事業である。
基本施策	16 交通体系の整備	事業優先度	B	
単位施策	1 道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	町道防雪柵設置事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	防雪柵設置・撤去延長		#N/A	
事業目標	3,601.6m	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加 住民協働	2	関係例規・法令名		
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計 画 内 容	○防雪柵の設置・撤去総延長 L=3,601.6m ・北幌内7号線外6路線の吹溜式防雪柵の 設置撤去延長 L=3,258.2m ・音稲府6号線外5路線の吹払式(固定式) 防雪柵の草地出入口部の設置撤去延長 L=343.4m	防雪柵設置撤去延長 L=940m (吹溜式 L=871m、吹払式 L=69 m)	防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6 m)	防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m)	防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m)	防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m)	
	計 画 事 業 費	事業費(千円) 9,820	2,210	2,210	1,800	1,800	1,800
財 源 内 訳	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	9,820	2,210	2,210	1,800	1,800	1,800
実 績 事 業 費	事業費(千円)	8,535	1,759	1,729	1,566	1,731	1,750
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)						
	【評価・実績】	(実施内容等) 防雪柵設置撤去延長 L=665.4 (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6 m)  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6 m)  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6m)  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6 m)  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 防雪柵設置撤去延長 L=665.4m (吹溜式 L=596.8m、吹払式 L=68.6 m)  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値 940 m	665.4 m	665.4 m	665.4 m	665.4 m	
	年度達成率	80%	78%	87%	96%	97%	
	全体達成率	18%	36%	51%	69%	87%	
事業進捗状況	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆		

事業名 町道防雪柵設置事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	佐竹邦夫
	評価者 作成者 職氏名	土木管理係長	田原慎也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	防雪柵設置延長・撤去延長								
【抱える課題やニーズは】	吹き溜まりによる交通障害。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	冬期間の吹き溜まりが激しい路線の円滑な交通。	① 防雪柵設置延長・撤去延長/防雪柵設置延長・撤去延長の実績	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>665.4 m</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>665.4 m</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0 %</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	665.4 m	実績値	665.4 m	達成度	100.0 %
目標年度	平成24年度										
目標値	665.4 m										
実績値	665.4 m										
達成度	100.0 %										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	冬期間の吹き溜まり路線の交通及び安全性の確保。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0! %</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0! %
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0! %										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①設置は民間業者による工事の実施	防雪柵の設置は、入札により民間業者に工事発注し実施した。									
	②撤去費は直営で実施	防雪柵の撤去は、直営により機械をリースし、派遣運転手、添乗員及び民間業者の作業員により実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	冬期間の吹き溜まりの激しい路線箇所に防雪柵を設置し、円滑な通行の確保と除雪作業の効率化のためには、町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、円滑な通行の確保と除雪作業の効率化が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	防雪柵の設置により吹き溜まりの解消が図られ、除雪費用が軽減されたことは、効率的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

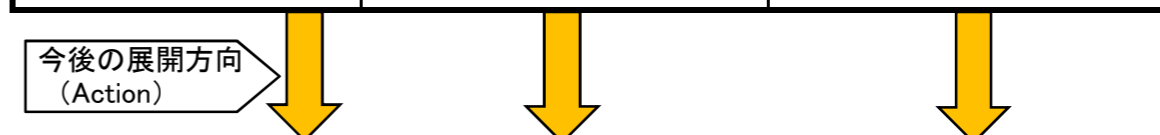
公平	判断の理由	冬期間の吹き溜まりの激しい路線に防雪柵を設置し、円滑な通行を確保できたことは、不特定多数の道路利用者に対して公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画通り防雪柵を設置し円滑な通行が図れたことは、今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断する。		



継続/現状維持		
除雪路線の円滑な通行確保と除雪作業の効率化のために、吹き溜まりの激しい路線箇所の防雪柵設置は必要であり、継続、現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止